

マリゼブ錠 12.5mg マリゼブ錠 25mg

【この薬は？】

販売名	マリゼブ錠 12.5mg MARIZEV Tablets 12.5mg	マリゼブ錠 25mg MARIZEV Tablets 25mg
一般名	オマリグリプチン Omarigliptin	
含有量 (1錠中)	12.5mg	25mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、糖尿病用薬の中の、選択的 DPP-4（ジペプチジルペプチターゼ 4）阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血糖値を調節するホルモンであるインクレチンを分解する酵素を阻害し、血糖値に応じてインスリン（血糖を下げる働き）の分泌を促進するなどして、血糖コントロールを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

2 型糖尿病

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にマリゼブ錠に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
- ・重いケトosis状態（悪心、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・インスリン注射による血糖管理が望まれる重い感染症にかかっている人、手術をした人、手術の予定がある人、大きな怪我をしている人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・低血糖を起こすおそれのある次の人、または状態
 - ・脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人
 - ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
 - ・激しい筋肉運動をしている人
 - ・飲酒量が多い人
 - ・高齢の人
- ・腎臓に重い障害がある人、血液透析または腹膜透析を必要とする末期腎不全の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	マリゼブ錠 12.5mg	マリゼブ錠 25mg
一回量	2錠	1錠
飲む回数	1週間に1回 同一曜日	

腎臓に重い障害がある人または末期腎不全の人は、週一回量 12.5mg です。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、できるだけ早く飲み忘れた分（1回分）を飲んでください。その後はあらかじめ定められた曜日に飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用する前に、患者さんやご家族の方は、次のことを十分に理解できるまで医師または薬剤師から説明を受けてください。
 - ・低血糖症状：
 - お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
 - ・低血糖症状があらわれた場合の対応：
 - ・通常は糖質を含む食品や砂糖をとってください。
 - ・ α -グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖を飲食してください。
- ・インスリン製剤またはスルホニルウレア剤と併用した場合、低血糖症状が起こりやすくなるため、医師の判断で、インスリン製剤の使用量やスルホニルウレア剤の飲む量が減らされることがあります。低血糖症状の一つとして意識消失を起こす可能性もありますので、糖尿病用薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・急性膵炎（初期症状として、持続的なおなかの激しい痛み、嘔吐（おうと）など）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・自動車の運転中や高所作業中などに低血糖を起こすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・この薬は1週間に1回飲む薬であり、使用中後も作用が持続するので、副作用の発現や血糖値に気をつけてください。異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は、医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
類天疱瘡 るいてんぼうそう	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある、ごくまれに粘膜が癒着することがある
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	けいれん、疲れやすい、冷汗が出る
頭部	意識の低下
顔面	血の気が引く
口や喉	吐き気、嘔吐
腹部	お腹がすく、お腹が張る、激しい上腹部の痛み、腹痛
背中	背中の痛み
手・足	手足のふるえ
皮膚	お腹にあざができる、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある、全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する
便	便やおならが出にくい
その他	ごくまれに粘膜が癒着することがある

【この薬の形は？】

販売名	マリゼブ錠 12.5mg	マリゼブ錠 25mg
パッケージ付きPTP	<p>表面</p>  <p>裏面</p> 	<p>表面</p>  <p>裏面</p> 
形状	<p>円形の錠剤</p>  <p>表面 裏面 側面</p>	<p>アーモンド形の錠剤</p>  <p>表面 裏面 側面</p>
直径	5.8mm	長径：9.6mm 短径：5.6mm
厚さ	3.2mm	4.0mm
重さ	85mg	166mg
色	黄色	白色
識別コード	K781	K782

【この薬に含まれているのは？】

販売名	マリゼブ錠 12.5mg	マリゼブ錠 25mg
有効成分	オマリグリプチン	
添加剤	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、カルナウバロウ、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、酸化チタン、タルク、黄色三二酸化鉄	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、カルナウバロウ、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社:キッセイ薬品工業株式会社 (<https://www.kissei.co.jp>)

くすり相談センター

フリーダイヤル:0120-007-622

受付時間:9時～17時40分(土、日、祝日、当社休日を除く)